

「お料理のコツ」 と 情報教育

すなみほくと

2008.08.07 PCC2008 in 慶大SFC

自己紹介

角南 北斗（すなみ ほくと）

大阪府在住。フリーランス。

専門：Webデザイン、日本語、教育。

日本語教育

大学院での専門は日本語教育学

日本語学校等で日本語を教えていた

現在は教材開発や授業支援がメイン

情報教育

PCカンファレンスには2003年より参加
諸研究会での発表、ブログでの情報発信
調理師専門学校で情報デザイン講師

Webデザイン

2005年よりフリーランスでWeb制作

教育関係を中心にWebサービスを設計

現場のITアドバイザーとしても活動

<http://shokuto.com>

さて、本題

「料理ができる」と
「コンピューターができる」は
けっこう似てますよね？

料理ができる

~~= レシピと食材と道具があれば作れる ×~~

= 冷蔵庫の残りものでサッと80点以上 ○

コンピューターができる

~~= 特定環境で指示があれば操作できる ×~~

= 制約のなか自分で判断して問題解決 ○

「できる」ということ

~~= 特定環境で言われた通りに手が動く ×~~

= 制約の中で目的に応じて結果を出す ○

「できる」は感覚

「記憶」ではなく「把握」している

「誰にも同じ知」ではなく「自分の世界観」

「情報伝達」ではなく「感覚の創造」

コツはうまく説明できない
でもコツを実感することはできる
大事なものは「いかに実感してもらおうか」

いつもはここで終わるんですが・・・

実感につなげるために

1. 柔軟な実践力（どんな方法がある？）
2. 実践の深い理解（それをする意味は？）

柔軟な実践力

1. 授業（整えられた環境）でできる
2. 現実（ありそうな場面）に対応できる
3. 外的な評価に対応できる

実践の深い理解

1. 個々のタスクが指示通りできる
2. タスクの前後をふまえられる
3. 全体における意味を考えられる

大事なものは「いかに実感してもらおうか」

~~教師がしたことより学習者が学んだこと~~

実践の「~~内容~~」より「意図」

哲学なき教育に「コツ」はなし

おしまい。

ご静聴ありがとうございました
ご意見・ご感想・その他なんでも
下記までお願いします

hello@shokuto.com

<http://shokuto.com>